



キット

取り付け前 準備



図1

レリーズシリンダーからブッシュロットを取り出し、長さを、115mmに固定してください。(図1参照)
レリーズシリンダーに再び挿入して下さい。この時、レリーズシリンダーの奥にある純正のアルミ製カップは取り除いて下さい。使用しません。
グリスは、塗布済みです。拭き取らないでください。

取り付け注意事項

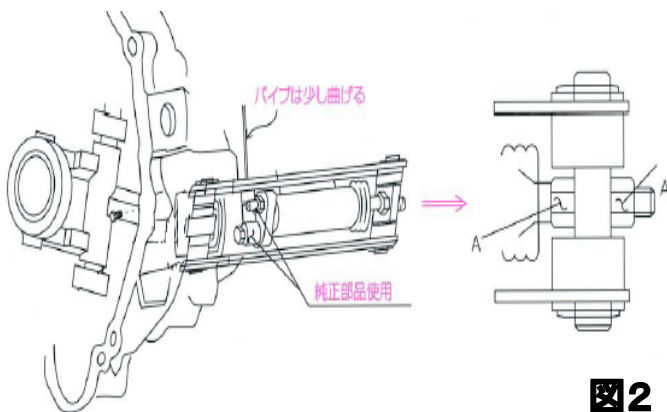


図2

次に、図2を参考にレリーズホークを取り付けて下さい。この時、同梱のレリーズシリンダーは逆方向に取り付けます。(純正とは180度反転した位置)
また、Aのナットがしっかりと締まっていることを確認して下さい。マスターシリンダーからレリーズシリンダーに繋がっている配管(パイピング)は、徐々に曲げ取り付けて下さい。急激に力を加えると折れたり、破損するおそれがありますので慎重に作業を行って下さい。

旧タイプ(調整式タイプ)には、リターンスプリング&取り付け板がついていますが、本製品(自動調整式)には、付属していません。(使用しません)

確認

- 組み込みが終わりましたら、レリーズホークを手で動かしてスムーズに動く事を確認してください。引っかかるなどスムーズに動かない場合は調整をやり直してください。
- 純正と同じ手順にて、**確実に**エア抜きを行ってください。(クラッチの切れ不良や焼き付きの原因となります。)

オーバーホール時の注意事項

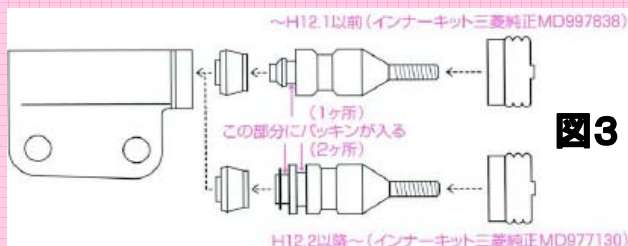


図3

作動変更パーツは、設計変更を行っています。ブッシュロットの形状が変更になっている為、図3を参照の上、現在使用しているブッシュロットの packing を、純正部品で揃えてください。
下記、OSデータを参照してください。

*****OSデータ*****

【H12.1以前の作動変更パーツのオーバーホールを行う場合】

作動変更パーツの設計変更を行っています。ブッシュロットがシングル packing タイプとなっています。オーバーホールを行う場合、三菱純正MD997838のインナーキットをご用意して下さい。

【H19.4以前の作動変更パーツのオーバーホールを行う場合】

作動変更パーツの設計変更を行っています。以前のモデルは調整式ですがH19.5以降は、自動調整となっています。H19.4以前のモデルを自動調整に変更する場合、専用ブッシュロット(税込み6,300円)をご購入の上、現在使用中のリターンスプリングとリターンスプリングステーを取り除いてください。自動調整式に変更されます。ブッシュロットはダブル packing 仕様となります。また、packing も組み込まれた状態での出荷となります。

※作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩擦などにより動きが悪くなった場合はアッセン交換となります。
※予告なく仕様変更することがあります。

